

技術基準一覧

無線設備 (略称) 試験項目等	28GHz帯SC-FDMA又はOFDMA 携帯無線通信基地局及びローカル5G基地局	
周波数範囲	SC-FDMA又はOFDMA携帯無線通信基地局 送信：27.0GHz～28.2GHz、29.1GHz～29.5GHz 受信：27.0GHz～28.2GHz、29.1GHz～29.5GHz ローカル5G基地局 送信：28.2GHz～29.1GHz 受信：28.2GHz～29.1GHz	
周波数の許容偏差	空中線電力26dBm超え $\pm (0.1 \times f \times 10^{-6} + 12) \text{ Hz}$ 空中線電力26dBm以下 $\pm (0.25 \times f \times 10^{-6} + 12) \text{ Hz}$ f：送信周波数（Hz）	
占有周波数帯幅の許容値	チャンネル間隔50MHz 50MHz チャンネル間隔100MHz 100MHz チャンネル間隔200MHz 200MHz チャンネル間隔400MHz 400MHz	
スプリアス発射又は不要発射 の強度（帯域外領域）	ア 一の搬送波を送信する送信装置 離調周波数0.5MHz以上（$0.1 \times (\text{送信周波数帯域幅}) + 0.5 \text{ MHz}$）未満： - 2.3dBm/1MHz以下 離調周波数（$0.1 \times (\text{送信周波数帯域幅}) + 0.5 \text{ MHz}$）以上： - 1.3dBm/1MHz以下 離調周波数：送信周波数帯域の端から不要発射の強度の測定帯域の中心周波数までの差の周波数 イ 複数の搬送波を同時に送信する一の送信装置 （略） 詳細は本文参照	
スプリアス発射又は不要発射 の強度（スプリアス領域）	30MHz以上1,000MHz未満 - 1.3dBm/100kHz以下 1,000MHz以上送信周波数帯域の上限周波数の2倍未満 - 1.3dBm/1MHz以下 23.6GHz超え24GHz以下（搬送波の送信周波数帯域が27GHz超え27.5GHz以下の周波数にかかる場合に限る。） - 9dBm/200MHz以下 詳細は本文参照	